

広報

ひがしゆり

1990-8

No.425



高橋宏幸の世界

5

町出身・絵本作家



一九二三年老方に生まれる。長年児童図書の編集にたずさわり、のち創作活動にはいる。文・絵・演技指導と幅広く活躍。「チロヌップのきつね」など数多くが海外でも出版。

童画「さあ、どうぞ」

数年前の夏、房総の海岸でアオウミガメの産卵を目撃したことがあった。ピンポン玉のような卵を一つ一つ、ていねいに産みおとす苦しそうな表情をみたとき、思わず「がんばれ！」と、声援をおくったものである。数時間かけた産卵は二百個近く。でも、これが全部育つわけではなく、卵のうちにさらわれたり、孵化しても、そのほとんどが天敵の餌になったり、天寿を全うできるのは数匹にすぎないといわれている。さらに人間が加害者側にまわったとしたら、絶滅はまぬがれないだろう。一匹でも多く、やさしい乙姫様のもとへと、願わずにはいられなかった。

絵は、その心情をそのまま筆に托したもので、絵本のイラストではない。一口に絵画といってもいろいろな傾向があって、一般純粋絵画は造形性を主に追求するのに対し、童画は、童話的物語性と童謡的詩情を生命とする。こんなバカバカしい絵とかわれるのは自由だが、絵のうちにひそむ物語を、少しでも読みとっていただければ、それで充分である。

(記・高橋)

東由利農業を創造して 農業振興大綱」の策定作業始まる

私たちが策定に携わります

農業従事者の高齢化がますます深刻になってくるでしょう。このため今後は、農地の流動化をもっと進め、専業農家または法人組織による農業経営を確立していくことが望まれます。そのための受委託がスムーズな体制づくりを進めていきたいものです。



稲作部門委員
畑山 吉基さん
(館合新田・35歳)

畜産農家も高齢化、後継者不足が課題になっていますが、繁殖牛は年配の労力でも粗飼料さえ確保できれば経営が可能であり、粗飼料を供給するシステムの確立が望まれます。将来的な課題としては、やはり集約化、法人化を検討していく必要があると考えます。



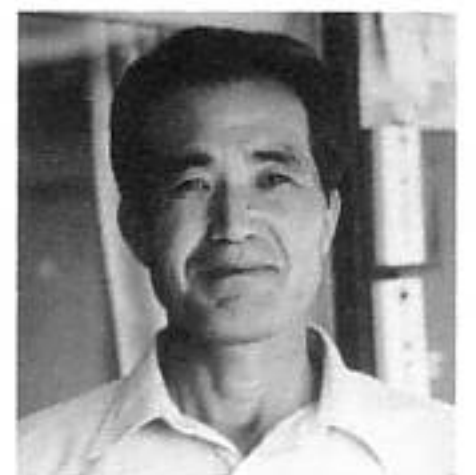
畜産部門委員
鈴木 和夫さん
(沼・38歳)

現状の畑作は団地化がなされていないため、作業効率、生産性、所得率などすべてに欠けています。無農薬野菜など所得率の高い良質作物の需要は今後もますます増えるでしょう。まず、団地化を強力に進め、生産条件の整備に取り組んでいきたいものです。



畑作・果樹等部門委員
金子 拓雄さん
(新町・39歳)

道路は山の管理に不可欠であり材価にも大きく影響します。今後どのような林業情勢になるか分かりませんが、長期的な展望にたち、作業道の開設をさらに推進することが必要だと思います。また間伐材などの素材を有効に活用し、所得向上を図りたいものです。



林業部門委員
畑山 作喜さん
(土場沢・49歳)

町の今年の重点事業の中に、「東由利町農業振興大綱策定事業」がありますが、いよいよその策定作業が始まりました。

この大綱は、町の基幹産業は将来ともに農業であるという考えから、十年後を見据えた町の農業の姿を描くものです。

大綱は、年内には素案をつくり専門家にコンサルタントを依頼、年度内には決定する予定です。

シンポジウムの開催など四手法で

なぜ大綱をつくるのか

米価の引き下げや牛肉の輸入自由化、農業従事者の高齢化や後継者の不足など、農業情勢は一段と厳しさをつのらせています。しかしながら、本町においては、産業構造が脆弱であることや地理的な条件に恵まれないことなどから、将来ともに農業を基幹

産業として振興していかなければならない状況にあります。

現在、わが町の農業は稲作を基幹に畜産や葉たばこ、野菜や花きなどの作目が主ですが、今後は未利用、低利用の地域資源をも生かした新しい農業生産を

すすめる、多様化する国民の食料需要に対応していかなければなりません。

そのためには、農業従事者や

後継者の確保、収益性、生産性の高い農業基盤の確立など、多くの課題を解決していかなければなりません。

この大綱は、その指針として策定し十年後の町の農業のあるべき姿を明らかにするもので、「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」を目指すものです。

● 東由利町農業振興大綱策定協議会委員

(順不同・敬称略)

稲作部門	畠山淳悦・遠藤忠平・藤原陽太郎・小松義嗣・小野勝徳・木島成寿・畑山吉基・佐々木徳昭・畠山明弘・若畑昌邦(普及所)
畜産部門	小松豊・鈴木和夫・佐々木善一郎・小松良一・佐藤好男・小野勲一・小松鉄郎・畑山克司・長谷山憲一・小笠原慶悦
畑作・果樹等部門	畑山清一・小野邦一・佐藤十内・金子拓雄・小松兵亮・大塚トシ・遠藤芳裕・小野貞子・佐々木精喜・小松茂穂・鈴木長彦(由利農林事務所)
林業部門	高沢忠・長谷山松記・阿部重二・小野昭一郎・畑山作喜・小番正裕・小笠原豊和



町の基幹産業は将来ともに農業……

21世紀の 「東由利町」

どのようにしていくのか

大綱の策定にあたっては四つの手法がとられます。

第一は「大綱策定協議会」の設置です。これは、農林業関係団体や農業生産組織などの代表者三十八人（別記）を委員に委嘱し、稲作、畜産、畑作・果樹等、林業の各部門ごとに問題点や課題などを協議・検討するものです。年内におおむね四回会議を開き、大綱の素案をつくります。

第二は「シンポジウム」の開催です。これは、過疎化と高齢

化が進む中で、若者が定住でき、高齢者がいきいきと生活できる農村づくりはいかにあるべきか、そのためには何をすべきかなどについて、有識者をパネラーに語り合い、大綱策定と今後の町づくりのステップにするものです。九月十六日に有鄰館で開催する予定です。

第三は「コンサルタント」の実施です。大綱策定協議会で検討した素案について、客観的な現実性をふまえ専門家の指導、助言を得るもので、各部門ごとに実施します。

第四は「大綱策定調整会議」の設置です。役場、農協、森林

組合の職員が委員となり、大綱の構成や内容、他計画との整合性などについて検討・調整するものです。

意見をお寄せください

東由利町農業振興大綱の策定について概要をお知らせしましたが、策定にあたっては委員のみならず、広く町民の意見を聞くことが大前提です。

大綱についての意見、要望などがありましたら、委員（別記）または町役場産業経済課までお寄せください。



7/11に第1回目の大綱策定協議会を開催

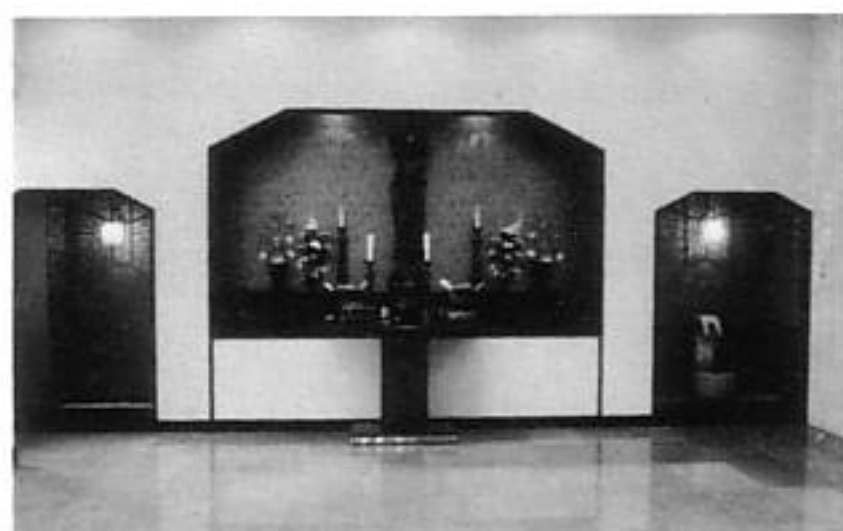
●東由利町農業振興大綱策定のスケジュール

6月		資料収集・整理	協議会資料作成
7月	11日	協議会の開催	大綱策定の趣旨及び内容説明 部会の設置
		第1回部会	部門ごとに実績の分析、問題点、課題の抽出
		部会協議検討事項の集約(事務局)	
8月	上旬	第2回部会	農業生産の指標の検討、具体的振興施策の検討
		部会協議検討事項の集約(事務局)	
8月	上旬	調整会議	
9月	16日	シンポジウムの開催	
9月	中旬	第3回部会	各指標の設定、振興施策の整理
		部会協議検討事項の集約(事務局)	
11月	上旬	協議会の開催	大綱素案のとりまとめ
11月	上旬	コンサルタントへの依頼	
12月	中旬	調整会議	他計画等との整合チェック
2月	上旬	コンサルタントの報告	
2月	中旬	大綱決定	
2月	中旬	印刷発注	3月下旬に完成
3月	下旬	協議会委員等への配布	

やすらぎの心を込めて…



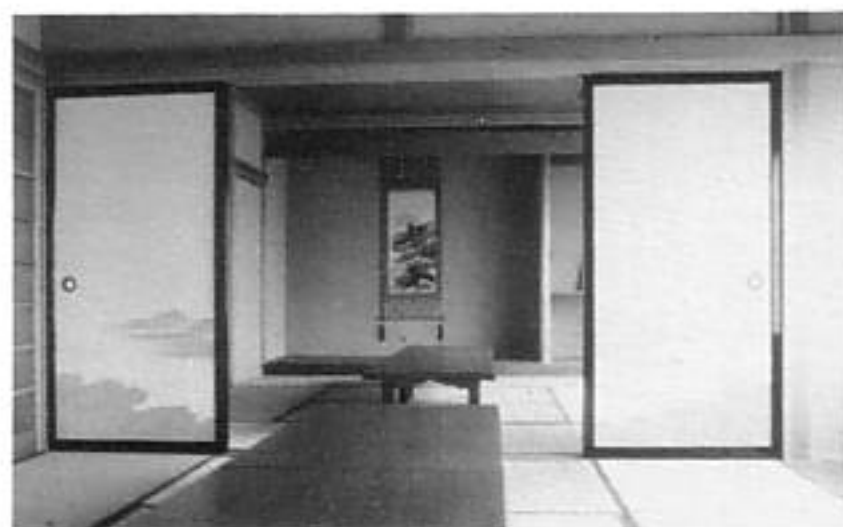
▲「やすらぎ苑」全景



▲祭壇



▲炉前ホール



▲和室

昨年四月から二年がかりで建築していた町の斎場が完成し、このほど「やすらぎ苑」としてオープンしました。

旧斎場は昭和三十七年に建築されたもので、老朽化が目立ってきたことから、西隣の蔵字館の内の一番地に新築したものです。

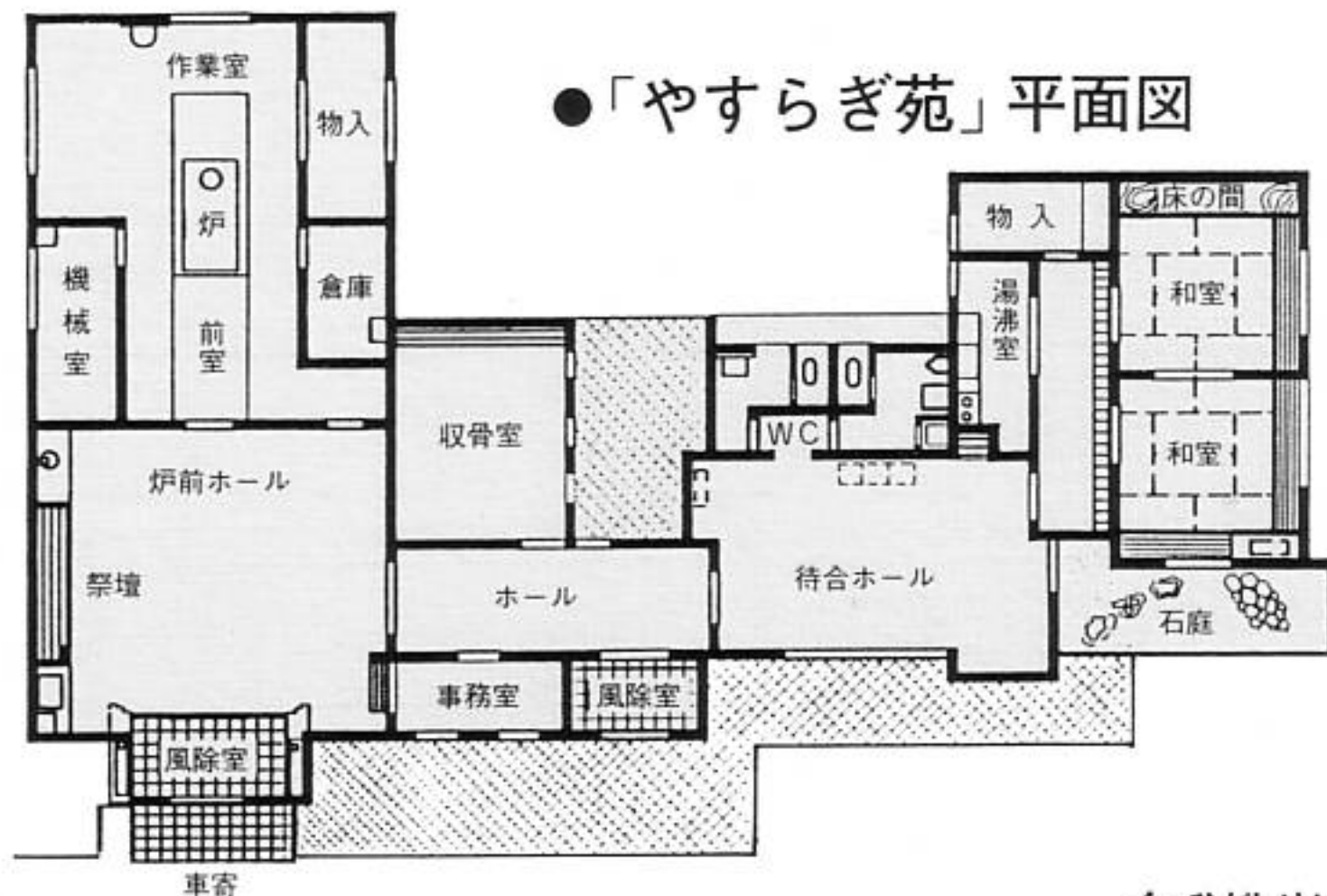
「やすらぎ苑」の建物は鉄筋コンクリートと木造を組み合わせた約二百九十四平方メートルで、台車式の炉や無煙・無臭の公害防止設備などを備えています。

また、収骨室、待合ホールのほかに和室二室などがあり、法要にも使える、従来の「火葬場」のイメージをなくしています。



▲待合ホール

●「やすらぎ苑」平面図



●施設の概要

敷地面積／3、435.8㎡
 建築面積／294.30㎡

工事 期 本体・電気・機械設備・炉
 着 工 平成元年7月1日
 竣工 平成元年11月20日
 竣工 期(外構)
 着 工 平成2年4月13日
 竣工 平成2年7月10日

事業費
 建築工事費／64、519千円
 炉設備工事費／18、334千円
 設計監理委託料／2、317千円
 外構工事費／26、059千円
 計／111、229千円

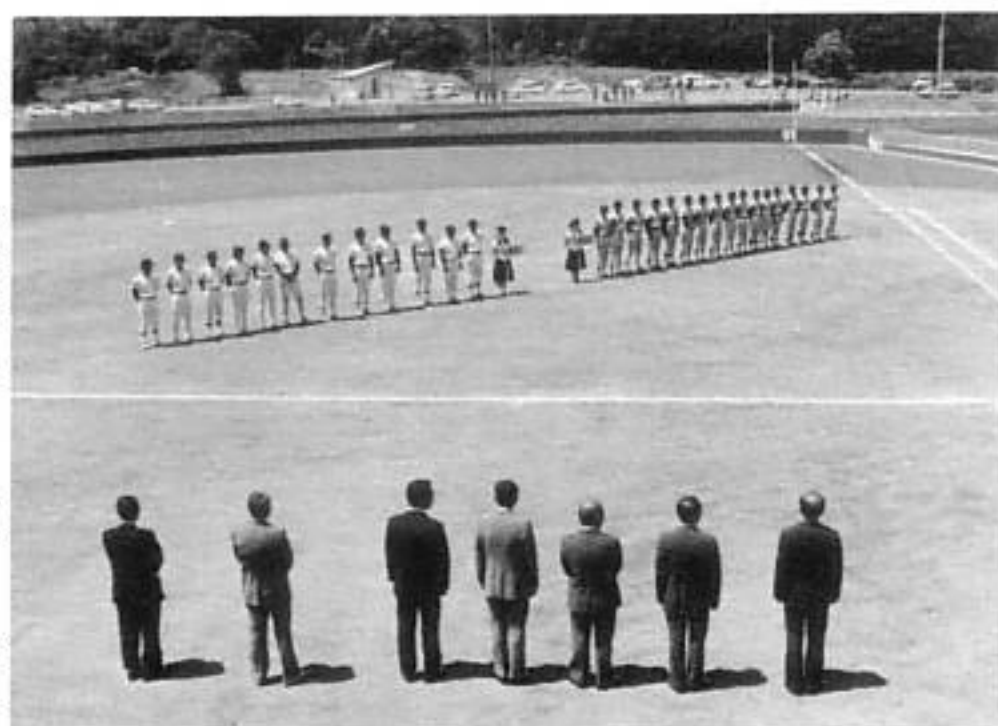
●財源内訳

起 債／59、300千円
 一般財源／51、929千円
 計／111、229千円

交流試合でオープン祝う 国・県議員など130人が出席

「東由利勤
労者野球場」
が六月三十日

にオープンし、この日神事、野
球場開き、竣工式、祝賀会が行
われました。



「オール雄物川」と「オール東
由利」が竣工記念親善交流試合
を開催

野球場開き
では、テーパー
カットのあと
雄物川町役場
職員を中心と
する「オール
雄物川」と、
本町社会人野
球の選抜「オ
ール東由利」
とが竣工記念
親善交流試合
を開催。畠山
町長と富田弘
二雄物川町長

による「薬玉」開放のあと、畠
山町長が始球式を行いプレーを
開始しました。

試合はオール東由利が先制点
をあげ中盤までリードしていま
したが、結果は五対五の引分け
におさまりました。

竣工式と祝賀会には有鄰館で、
国・県議員、市町村関係者、
町功労者など百三十人が出席し
て行われ、畠山町長が式辞、県
出納長などがあいさつを述べた
あと、畠山町長が工事施工業者に
感謝状を贈呈しました。
このあと村岡兼造衆議院議員
など四人が祝辞を述べ、祝賀会
にうつり、野球場の完成を祝い
合いました。

百二十人が立派な完成祝う

斎場「やすらぎ苑」の竣
工式と祝賀会は七月十七日、
斎場でのテーパーカットと火
入れ式のあと有鄰館で行わ
れ、工事関係者、町議会議
員、自治会長など百二十人
が出席しました。

竣工式では畠山町長が、
「やすらぎ苑は人生最後の
儀礼の場にふさわしい尊厳
と品位を保ち、深い悲し
みに包まれたご遺族や参列者
に対し「やすらぎ」の配慮を
いたしました」などと式辞
を述べたあと、工事施工業
者と用地を提供した遠藤実



斎場でのテーパーカット

さん（宿）に感謝状を贈呈しま
した。
このあと引き続き祝賀会が開
かれ、「やすらぎ苑」が立派に
完成したことを祝い合いました。

町長随想

去る六月三十日に野球場の竣工
式を終えた。これで念願だった体
育センターの三部作の建設を終え
たことになる。

そのひとつは「東由利町健康増
進センター」（町民体育館）の建
設。これは、昭和六十一年に第三
期山村振興対策事業として農林水
産省の補助事業で建設したもの。
その二は「東由利町営テニスコ
ート」（夜間照明付テニスコート）
の建設。これは、誘致企業「秋田
信英株式会社」を立地したことに

東由利勤労者野球場の建設を終えて

業団が行う事業として平成元年に
着工し、このたび竣工したもので、
労働省の国管事業と町単独事業と
を組み合わせて建設したもの。

町づくりは、町民の健康が基

実践でもある。

「健康は黄金に勝る」「町るい
家庭は家族の健康から」「町
づくりは町民の健康が基」である。

わが町の社会人野球チームは、

現在十九チーム。人口六千人弱の
町で、十九チームの若者が競い合
う。一年に一度、若者が結集して
の社会人野球大会は、まさに「若
人の祭典」である。毎年お盆を中
心に繰り広げられるこの祭典の始
球式には、万障繰合せて出席し、

若者たちを励ましてきた。若者た
ちの待望久しい野球場の完成で、
今年は若さ溢れる熱い戦いが……
エネルギーが分散されることであ
ろう。喜びもひとしおである。そ
れに、私にとっては、町の若者た

ちとこの数年間約束してきたこと
を実行したことについての喜びが
重なる。――「公約は必ず実行」
を信条とし、私は常に実践こそ政
治と心得ているからである。

この野球場は、本荘高校下郷分
校のホームグラウンド―東由利
中学校のホームグラウンドとして
も使用して欲しい。そして野球を
通して培われる健康で明るい町づ
くりと、「健全なる精神が健全な
る身体に宿る」という諺どおり……
人づくりができることを切に望
んでやまない。

（町長・畠山亮二郎）

第6回臨時議会

坪倉線改良工事契約などを可決

第六回町議会臨時会議が七月二十四日に開かれ、平成二年度一般会計補正予算案、東由利中学校大規模改造工事請負契約の締結など五議案を可決し閉会しました。また、任期満了に伴う常任委員会委員の選任替えを行いました。

監査委員の選任に同意

故・伊東庄一郎議員の逝去により空席となっていた議会選出の監査委員に、阿部剛議員（蔵・五七歳）を選任することに同意しました。



監査委員に選任された阿部剛氏

道路橋梁費などを補正

平成二年度一般会計予算の歳入歳出にそれぞれ百八十万円を追加、同予算の総額は二十九億七千七百九十六万二千円になりました。

内訳は、

▽道路橋梁費 三十万円

▽道路新設改良費 百五十万円

坪倉線の工事を契約

団体営農道整備事業坪倉地区として整備している坪倉線の改良工事を、指名競争入札により三千六百五十六万五千円で長田建設（本荘市）と契約を結びました。これにより工事が七月下旬から着工しています。



団体営農道整備事業坪倉地区として工事中の坪倉線

消防ポンプ車を購入

町消防団第一分団に配置するため消防ポンプ車一台を、随意契約により一千八十七万六千八百円で高義商事（横手市）から購入しました。

議会常任委員会が新しく構成されました。（敬称略）

●総務財政常任委員

委員長	小松鉄郎
副委員長	畠山作四郎
委員	阿部剛賢
〃	小松智治郎
〃	長谷山二郎

●教育民生常任委員

委員長	長沼久男
副委員長	梅津栄一
委員	小松慎一
〃	佐藤万一
〃	小野要造

●産業建設常任委員

委員長	畑山清一
副委員長	遠藤忠平
委員	高沢忠
〃	畠山淳悦
〃	小松豊

●広報委員会（任意設置）

委員長	遠藤忠平
副委員長	佐藤万一
委員	小松慎一
〃	高沢忠
〃	佐藤智治郎

おまたせしました。大琴バイパスが開通しました。

国道一〇七号 十九年、宿・奥ヶ沢間（奥ヶ沢の大琴バイパス）が同六十一年に着工、スグが完成し、八月一日に開通しました。

開通式は八月八日、東由利中学校吹奏楽部の協力などで華やかに行われます。国道一〇七号線の改良工事は、庄市山内・奥ヶ沢間の改良工事も今年から着工しており、早期完成が望まれます。



8月1日に開通した大琴バイパス

8月は道路を守る月間です。道路にやさしく、思いやりを！

道路は人が歩き、車が行き交うといった交通のためばかりでなく、電線や電話線、ガス管、上・下水道などの収容スペースとしても、大きな役割を果たしています。

8月は「道路を守る月間」です。道路にやさしく、思いやりを！

頼りにしています！消防団

消防技術を高めるとともに町内各消防団が日ごろの訓練の成果を競い合う、町消防訓練競技大会が七月二十二日台山グラウンドで開かれ、今年も町内五つの分団から規律訓練の部に八小隊、自動車ポンプ操法の部に四班、小型ポンプ操法の部に十六班が出場、「番号……」など、いつもながら気合いの入った号令のもと、きびきびした訓練が繰り広げられました。



きびきびした訓練を展開した町消防訓練競技大会

平成2年度 町消防訓練競技大会

総合では二分団が 二度目の優勝飾る

競技は終日好天に恵まれながら終了、消防署員による採点の結果、ポンプ車操法の部で五分団一部一班（佐々木徳昭班長）が六年連続優勝を果たしたのは

じめ、小型ポンプ操法の部で二分団二部二班（高橋誠一班長）が二年連続優勝、規律訓練の部で四分団一部（工藤実分団長）が昭和六十一年来六年ぶりに優勝しました。総合優勝では二分団が、昭和六十二年来二度目の優勝を飾っています。

各部門で優勝した部や班は、八月七日に本荘市で開かれる本荘市由利郡支部消防大会に出場することが決まっております、健闘が期待されます。

大会の成績は次のとおり。

〈規律訓練の部〉

- ①四分団一部 ②二分団二部
- ③四分団二部

〈ポンプ車操法の部〉

- ①五分団一部一班 ②二分団一部一班 ③三分団一班

〈小型ポンプ操法の部〉

- ①二分団二部二班 ②五分団一部二班 ③五分団一部三班

〈総合の部〉

- ①第二分団 ②第五分団 ③第四分団



小野 廣志氏

小野廣志氏が勲六等瑞宝章を受章

町功労者の小野廣志氏（宿・八八歳）が、このほど高齢者叙勲として勲六等瑞宝章の榮譽を受けられました。

小野氏は、昭和二十六年下郷村議会議員に当選、以来同三十九年まで連続三期十三年間在職し、特に昭和三十年旧玉米村、

下郷村の両村合併にあつては円滑な促進を図り、今日の東由利町の基礎をつくられました。

また、昭和四十一年には人権擁護委員を委嘱され、同六十一年に退職されるまで二十年間の永きにわたり、地域住民の良き相談相手となり、人権思想の普及、啓発に努められました。

成人おめでとう

今年の新成人は75人です。

（敬称略）

〈智者鶴〉 横山美和子	小松 久輝	〈板戸〉 大塚 充幸	〈上里〉 小野 順子	阿部 金好
〈向田〉 横山 悟	佐藤 学	〈松柴〉 小松 和明	〈宮の前〉 佐藤 進	〈大吹川〉 山田 年昭
横山富士子	佐藤 敏夫	莊野千賀子	小松 和明	山田 年昭
横山富士子	佐藤 健	上通	伊東 勝宏	武田 真里
横山富士子	渡辺 倫史	遠藤 洋司	阿部美紀子	鈴木 弘子
佐藤ひとみ	館西	小松 聡子	木島恵里子	鈴木 弘子
鎌田 宏彰	菊地 亨	畠山 和子	阿部 康久	佐々木善政
畠山 和子	菊地 郁子	中通	阿部 康久	佐々木善政
小松 育子	小松 育子	畠山 亮	阿部 康久	佐々木善政
八日町	八日町	下通	岩館	舟木
長谷山久美子	石高	斎藤 一	渡辺 恭子	田代
渡辺 恭子	小松 進	佐藤 正徳	佐々木俊則	阿部 司
小松 進	渡辺 浩二	佐藤 智子	小松 真紀	伊東 隆
小野 円美	時雨山	長谷山広美	横小路	阿部香代子
小松みな子	高戸屋	小松 雅裕	新町	阿部 賢
館合新田	高橋 忠英	小松 利加	小野 良子	阿部 恵
渡辺多代子	久保	佐藤みほ子	遠藤 友子	阿部利加子
工藤 昭仁	大場 惣晃	佐々木一徳	遠藤 昌亮	小松 明
佐々木智恵	高村	小松 哲也	小松 明	小松 哲也

カメラトピックス

今月の出来事

町民ゲートボール大会に62チーム!

第4回町民ゲートボール大会が7月8日台山グラウンドで、過去最高の62チームが参加して行われました。参加の多さにゲートボール熱の高まりが感じられますが、「練習後皆で一杯、やるのが楽しみで」という人も多く、コミュニケーションづくりに役立っているようです。今大会では横小路が初優勝を飾りました。

▶過去最高六十二チームが参加した町民ゲートボール大会



七月八日、町内の有志が鳥海登山に挑戦、全員無事に山頂を征服しました。メンバーは下通の佐藤達男さんを隊長とする九人で、このなかには畠山町長の顔も。九人は早朝「抜川」登山口を出発し四時間余りで山頂に到着。大惣忌神社に参拝したあと無事下山しました。



▲鳥海山頂に立つ町内有志。佐藤隊長を左に畠山町長の顔も

町内有志が鳥海登山に挑戦

昔ばなしが町PRに一役

「広報ひがしゆり」でおなじみ「ふるさとの昔ばなし」のさし絵が、このほどN.T.T本荘支店のホールに展示され訪れた客から好評を得ました。

さし絵の作者、石渡力造さん(蔵新田)が同支店の依頼で絵を提供したもので、このほか同支店の「とっぴんからりん、むがしっこ」と題したテレホンサービス(☎24-0874)で

▶栄誉の楯を手に喜びの大沼社長



大沼武且社長は「三年連続受賞を目指し頑張りたい」と意気込んでいます。

元年度の県営災害復旧工事が模範的だったことなどにより、このほど町内の土建業者(株)大沼組が知事表彰を、昨年に続いて受賞しました。

この表彰規定は厳正さで知られ、今年も全県六千五百件余の工事から選ばれたのは十三件。

しかも二年連続して選ばれることはまれだとされています。

厳正な基準をクリアし大沼組が連続知事表彰



「氷」という文字に、涼し気な波などをあしらった「氷旗」が店先につるされているのは、まさに夏の風物詩です。

そのかき氷旗を見て、子供たちが「あつ、フラッペの店がある」と言っているのを見かけました。かき氷は現代っ子にとってアイス・フラッペなのです。フラッペとは、かき氷にリキ

かき氷

ユールをかけたり、果物を飾ったものをいうようです。ストロ―の先が開き、スプーンのように

ことが載っており、削氷(けずりひ)は、宴席の献立として出されていたようです。保存した天然水を使った氷水の店は明治のはじめころからあり、明治中期からは人工氷が出回りました。それが今では、氷は家庭の冷蔵庫で作られるようになり、電気かき氷器は、お中元の品としても人気があります。

下郷分校生が奉仕活動を体験

七月二十一日から三日間、秋田県青年の家（秋田市八橋）で「高校生ボランティアスクール」が開かれました。

これは町公民館が、地元本荘高校下郷分校の生徒を対象に毎年開いているもので、今年は二十四人の高校生が参加。福祉施設で窓ふきの奉仕作業を体験したり、県内で活躍中のボランティアグループと交流をしたりして、高校生の社会参加について学びました。



▲2日目にはサイクリングなどをして楽しんだ（写真は世話人として参加した畠山栄雄さん・茂沢撮影）

キャンプ生活は楽しいな

少年自然教室が7月26日から3日間、八塩いこいの森などで開かれました。6年生を対象に町教育委員会が開いたもので、今年は76人が参加。初日は雨で有隣館に泊り、レクリエーションや映画鑑賞をしましたが、2日目は絶好のキャンプ日和となり、八塩いこいの森のキャンプ場にテントを設営、八塩登山やキャンプファイヤーなどで自然とふれ合いました。キャンプ場は整備されたばかりで今回が初めての使用。子どもたちは自然の中で存分に はしゃぎまわっていました。



▲「少年自然教室」で八塩いこいの森キャンプ場にテントを張る町内小学6年生

全国縦断のグループが本町入り

有機農法などを訴え北海道から沖縄まで約五千キロを歩き通そうというグループ十人が、七月二十一日本町入りし役場職員と交流しました。

メンバーには短期参加の小野久隆さん（28歳・時雨山）の顔もみられ、この日は小野さん宅に宿泊。このグループは玄米食、禁酒の自炊生活を原則としており、交流では森林破壊、石油文明、食物汚染などを訴え、環境浄化への協力を呼びかけました。



▲役場職員と交流し環境浄化を訴える全国縦断グループ

佐々木局長が定年退職、宿郵便局に佐藤新局長赴任

宿郵便局長の佐々木悦夫さん



佐々木悦夫さん

（58歳・大琴）が六月三十日をもちて定年退職なされ、替って鳥海郵便局（鳥海町）から佐藤重一さん（50歳・鳥海町）が赴任されました。

佐々木さんは秋田郵便局から

宿郵便局に昭和四十六年に配置になり、以来十九年間同郵便局長として円滑な郵便業務を推進してこられました。長い間たいへんご苦労さまでした。

新局長の佐藤さんは鳥海町の

佐藤 重一さん



ご出身で、現在自宅から毎日車で通勤なされています。どうぞよろしく願います。

小松さんの写真がテレホンカードに

またまたNTTに関する話題ですが、本広報紙16面「マイスケッチ」に掲載の小松久隆さん（宇戸坂）撮影の写真がテレホンカードに採用されています。NTT本荘支店が、鳥海山シリーズ第三作目として、数ある鳥海山の写真の中から選んだもので、写真はカードのほか台紙にも採用されています。

このテレホンカードは一〇五度数一枚千円（台紙付）で、限定販売。ご希望の方は町内の「テレホンカード販売代理店」でお早めにお求めください。



▲小松久隆さんが撮影した写真が採用されたテレホンカードと台紙



▲石渡力造さんのさし絵が展示されたNTT本荘支店のホール

るなど、昔話しが町PRに役かっています。

農家自慢の93頭が大集合！

これが今年の
優等牛だ！
(出品者敬称略)

第35回東由利町畜産共進会を開催

がんばった牛に表彰状

飼養者敬称略

●特別多産功労牛(15産以上)

名 号	住所	飼養者
さ よ み	横 渡	小笠原慶照
や よ い 2	山 崎	小松 良一

●多産功労牛(10産以上)

名 号	住所	飼養者
第6ふくひめ	葎 沢	佐藤 好男
こ と ひ め	〃	高沢 忠
あ さ こ 1	泡ノ渕	横山治三郎
と つ ひ め	高戸屋	小松 敬
は な に し き	下小屋	佐藤 三次
第7はるよし	田 代	渡辺 富弥
な お ら 1	〃	渡辺 信徳
さ ち 3 の 8	〃	渡辺 房吉
あ い こ	石 高	村上 作蔵
ひこふじ2	館 西	遠藤 君男
ふ く ふ く	板 戸	石橋 一郎
か ね よ し	館合新田	畠山 正博
た か こ	〃	小野 一郎
ち よ 6	〃	高橋重四郎
つ よ し	〃	高橋 定雄
や す こ 3	新 町	小松 運一
は ぎ ふ じ	下 通	畠山 富一
み ゆ き	横 渡	阿部千代志
ふくひめ2	岩 館	阿部 丸雄
ま す と ち	蔵新田	太田 行雄
第7ふくひめ	〃	阿部 勲
第4とちひめ	〃	佐藤末五郎
はるひめ1	宮ノ前	大日向左司馬
は る た か	小 倉	阿部 六平
な つ ひ め 5	宿	小野正之助
か ね み	大 台	小松昭一郎
みつひめ5	〃	石綿徳市郎
第3あきみ	須 郷	高橋 仁



農家が手塩をかけ育て上げてきた93頭の牛が大集合

館合和牛組合が二年連続優勝

町恒例の畜産共進会が七月三日、畜産広場で開かれました。第三十五回目の今年は、昨年より十三頭多い九十三頭が出品され、このうち七十八頭が黒毛和種、十五頭がホルスタイン種とジャージー種でした。

15産の2頭に特別表彰

出品された牛はいずれも農家が手塩をかけ育て上げてきた自慢の牛ばかりで、各部門ごとに審査を受け、体型や資質を競い合いました。その結果、優等賞を受賞した牛は別記のとおりで、団体賞の肉用牛部門では館合和牛組合が昨年に引き続き優勝を獲得したほか、久山和牛改良研究会が準優勝、大琴畜産改良組合が第三位を受賞。乳用牛部門は昨年と同じで、宿地区が優勝、蔵地区が準優勝しました。

出産回数が増え、今年に別記の二十八頭が該当となり、畠山町長から飼養者に表彰状と記念品が贈られました。また、これまで十五回もの出産をした「さよみ」と「やよい2号」には、「特別多産功労牛表彰」が贈られました。多産功労牛として表彰された和牛の大半は、年一産という理想的な出産を成し遂げているもので、安定した畜産経営のためにも、今後こうした牛がもっと増えることが望まれます。

●黒毛和種・育成区

名 号	住所	出品者
め ぐ み	高 屋	小野 武雄

●同・若牛区

いとさかえ	土場沢	畑山 藤作
-------	-----	-------

●同・成牛1区

た か こ	大 台	木島 清夫
-------	-----	-------

●同・成牛2区

か す み	新 沢	巖石 勝男
-------	-----	-------

●同・成牛3区

ふくはな5の9	土場沢	畑山 藤作
---------	-----	-------

●同・繁殖雌牛群区(個人出品)

さ く ら	山 崎	小松 良一
あ や め	〃	〃

●同・繁殖雌牛群区(組合出品)

て る は る	大琴畜産改良組合	佐々木正千代
ふ く み	〃	佐々木精喜
み や こ	〃	鈴木 博

●ホルスタイン種・未經産の部

フラインランド	舟 木	大庭テツ子
カウセント	〃	〃
プリンセス	〃	〃

●同・経産の部

フラインランド	舟 木	大庭喜一郎
カウセント	〃	〃
プリンセス	〃	〃

●同・経産の部

フラインランド	舟 木	大庭喜一郎
カウセント	〃	〃
プリンセス	〃	〃

●同・経産の部

フラインランド	舟 木	大庭喜一郎
カウセント	〃	〃
プリンセス	〃	〃

●同・経産の部

フラインランド	舟 木	大庭喜一郎
カウセント	〃	〃
プリンセス	〃	〃

●同・経産の部

フラインランド	舟 木	大庭喜一郎
カウセント	〃	〃
プリンセス	〃	〃



2年ぶりに総合優勝旗が本町に
(由利家畜共進会表彰式)

郡共進会で二年ぶりに総合優勝

由利家畜市場（本荘市石脇）で七月二十日に開かれた第二十六回由利家畜共進会で、本町が二年ぶり二度目の総合優勝を果たしました。

この共進会に本町から町共進会で上位入賞の牛二十三頭を出品。審査の結果乳用牛部門で二位の西目町に九十五点の大差をつけ優勝、同点数に肉用牛部門の二百五十五点（四位）が加わり、四百六十五点の総合点数で

●審査講評●

秋田県中央家畜保健衛生所
衛生指導課長 利部 征夫

出品された家畜は、日ごろ皆様の熱心な飼育管理の成果が表われた、優秀のつけがたいものであり審査に苦勞しました。

育成牛・若牛区では、全体的に発育が良好で、体の伸びもよく、体積に富み、各部位のつり合いもよく、資質、品位ともに優れ、改良の成果が表われていました。しかし、一部

に体のしまりに欠けるもの、肢蹄の弱いものが散見されたことが惜しまれます。

成牛の部では、全般的に発育、資質に改良の跡が表われており、特に発育、体積の十分な牛がそろっており、また連産性に優れ

町内産の牛が好成績を獲得

た繁殖成績の良い牛が多数出品されたことは、繁殖経営と密接に関係することであり大変良い傾向だと喜んでいきます。

しかし、一部に繁殖牛として大切な乳房に、脂のかかっているものがみられたことが惜しまれました。今後、栄養管理に注

意されるようお願いいたします。

乳用牛部門でも、全体的に発育が良く、資質に優れたレベルの高い牛が出品されましたが、中にはやや鋭角性に欠けるものもみられたことから、今後飼育管理技術の向上に期待します。

◎ ◎ ◎

以上、概要を申し上げましたが、本日出品された牛の多くが自家保留牛、あるいは東由利町産であり、それらの牛が優秀な成績を収めたことは、本町の改良度の高さを示すものとして大変喜ばしく思います。



町畜産共進会の審査風景

今後とも、豊富な粗飼料資源の有効活用による低コスト生産に努めると共に、一年一産を目標とした繁殖能力の向上に努め、優良子牛の生産と保留を行いながら、地域全体の改良基盤のなお一層の充実に努められるよう希望し、審査講評とします。

東由利の文芸

ゆりかご句会(七月会から)

蛍狩り声を残して闇深む

高橋ヒデ子(横渡)

幼な掌で囲むひととき蛍の灯

小野貞子(蔵新田)

朝ぼらけ水ひたひたと早苗取る

鈴木徳蔵(舟木)

早苗竈老いをわすれし今日一日

遠藤トミ子(小倉)

嘘で呼ぶ蛍にあまき水あらず

阿部義直(沼)

子の放る早苗とどかず峡田風

小松メサ(下小路)

螢火や言葉きれいな都会の子

鈴木要(沼)

若き嫁早苗運ぶ手爪赤く

佐藤正義(湯出野)

収穫を夢見て早苗うえなおす

阿部澄子(蔵)

玉苗の箱に育ちて農変わる

小笠原亮子(蔵新田)

螢火や孫の笑顔がまたこぼれ

遠藤モトミ(新処)

我も又童心になりて蛍呼ぶ

小笠原トミ(蔵新田)

早乙女の緋の装い小町姫

菊地常作(湯出野)

蛍狩り堰ひとまたぎ分水嶺

小松慶次郎(高戸屋)

水口を止めれば蛍股ぐる

小松徳蔵(湯出野)

交通事故異常発生！ 死亡

わたしのお母さんは、昭和五十四年七月七日に、天国に行きました。交通事故にあったとき、わたしをしっかりとこしていたので頭を強くうったのです。

わたしは、少しもケガをしなかったのですが、警察のおじさんもびっくりしたそうです。きつと、お母さんが、わたしを命がけで守ってくれたのだと思います。

病院に入院したお母さんは六十八時間生きていたけど、とうとう、熱が下がらず、意識が回復しないままだったそうです。

生まれてまだ十一カ月のわたし

は、その三日間、人にばかりだかれていたので歩けなくなったそうです。それから、おじいちゃんとおばあちゃんに育ててもらいました。

トで、お母さんを買ってきて！」と言って、こまらせて、おばあちゃんと二人で泣きました。でも、今は写真を見てあきらめて、いっしょうけんめい勉強しています。

お母さん、だっこして…

三歳の時、おじいちゃんも肺ガで亡くなったので、今はおばあちゃんと二人きりです。よその家には家族がたくさんいるので、わたしはさみしくてたまりません。だから、おばあちゃんに、「デパー

習字も書き初めて、銀賞をいただきました。今度は、官報賞をもらって、仏だんにおそなえするよう、がんばります。

ときどき、おばあちゃんが、お母さんに変身してくれたら、うれしくない？と思います。夢で、お母さんと二人で月旅行に行きました。地球が、まりのようになく美しく見えました。きれいな大きな星を、お母さんが三コ、わたしが二コひろって、地球にのって帰りました。そして、お母さんにだきついて寝ました。これが、夢じゃなくて本当だったらいいなあ。お月さまに、いつもお願いしています。

ある交通遺児のつづりから

お父さん、元気ですか！
お父さんが死んでしまったのは、ちょうど夏休みでした。お母さんが仕事で、私は二人のお兄ちゃんと留守番をしていました。そして、警察の人が来て「お母さんいますか？」と言いました。私は、お母さんがどうかしたのかと思って心配になりました。

私は信じられませんでした。だって、夕べ元気に仕事に行ったのだから……。事故は山形の南陽市でした。あつという間に着いたような気がしました。お母さんは泣

さしくて、とても家族思いのお父さんだったのに……と思いました。お父さんをひきとってから事故現場に行き、車を見ました。そこにはタイヤの跡があり、車はグシ

くからね。毎日線香も上げます。一生懸命勉強して、お母さんを助けるから心配しないで！」と。すると「うん。分かったよ。お母さんを大切にしろんだよ」と聞こえたような気がしました。

天国のお父さんへ

少ししてから、お母さんが青い顔をして帰って来ました。「お父さんが、大きな事故をやったんだって。命があぶないかも知れない。迎えに行くから用意しなさい」と言いました。

きつばなしでした。

ヤツとつぶれていました。車に挟まっていたお父さんの靴を見た瞬間、また、悔しい気持ちがあふれてきました。私は思わず叫びました。

「お父さん、もし地獄へ行くようなことがあったら、すぐ助けに行

きつばなしでした。

病院に着いてから、お父さんの死顔を見ました。死んだなんてウソみたいで、まだ温かくて、眠っているようでした。悔しくて涙が出てきて止まりませんでした。や

「お父さん、もし地獄へ行くようなことがあったら、すぐ助けに行

でも、もう一度あの温かいお父さんの手に触ってみたい。大きな声で「ひろみ」と呼んでほしい。お父さん、また来年の父の日に手紙を書くからね。楽しみにしててね。

これはラジオ放送「FMあきた」の「トーク&トーク」という番組で昨年放送されたもので、六回シリーズで掲載しています。

負けられない勝負

◆(アナウンサー)「政治力」が「足」に負けた。面白いね。

◇(石川嘉明)面白いと言ったら、町長に失礼だよ。町長にとっては「背水の陣」だったんですから。一度、畠山町長に聞いたことがあるんです。そしたら「もし、あの交渉に失敗したら、町長を辞めてもよいと思っていたと言っていたな。それ、分かるような気がするんですよ。」

畠山さんの「選挙公約」は「男子型の企業を誘致する」というのが柱だったんですからね。そして戦ったんです。それがポシャッタ、男子の面目丸つぶれでしょう。「何だあの町長は、口ばかりじゃないか」と言うことになってしまふ。そういうものなんです。ですから、負けられなかった。「東由利町に来てくれるなら、会社の条件をのむ」とまで真剣に考えたようですね。何しろよその町村より、立地条件が悪かったんですから。

◆まさに「背水の陣」だったんですね。すごい迫力を感じる。

由利町の将来のインパクトを読んだんです。町長になってはじめての勝負。ですから全力投球をしたと思うんですよ。男が全力投球したとき、そこには男のロマンが生まれる。相手もそれを感じたんじゃないですか。

◆見たとおとなしいような方ですがね。

◇童顔で、いつもニコニコして、おとなしいような顔をしていますからね。しかし、ここ一番というときには、したたかな二枚腰をもっている男ですよ。少々のことでは物おじしない強さがある。

◆どういうところから出てくるんでしょうね。

◇畠山町長の前身は警察官なんです。二十二年に警察官になり、鷹巣警察署長、県警本部鑑識課長、秘書課長、捜査第一課長、会計課長、交通部長、刑事部長、そして秋田警察署長を最後に退任し、町長になった男なんです。しかし、警察官臭くない人でした。

臨空港の町

◆企業というのは、町長の情熱を感じ、それを認めても、それだけで来るものでもないと思うんですよ。やはり「利益を追求する」ところですから。それに「立地条件」も悪かった所でしょう。「陸

企業が町を活性化に

ジャーナリストから見た東由利シリーズ2

フリージャーナリスト 石川 嘉明

◇そうですね。東由利町は山間僻地ではないという考え方です。

◆と言いますとー。

◇地図を見れば分かるんです。

実は東由利町から本荘までは三十分で着きます。横手までは三十分から四十分。湯沢まで四十分。大曲まで五十分です。秋田空港まで一時間五分。秋田市まで一時間半。北上まで二時間です。東由利町の交通体系は、極めてバランスが取れているという認識をもっているんです。今は車社会でしょう。一時間半という時間は、東京ならごく普通の通勤時間でしょう。畠山

の孤島」ですからね。

◇あのね。実はそれまでの東由利町が、あなたと同じような考え

方だったんですよ。こんな山間僻地に、立派な会社など来るはずがない。会社というところは利益を追求するところだ。どんなに我々が頑張っても、よい会社など来るはずがないという戒めがあったんです。「陸の孤島意識」もあったしね。落ち込んでいたんですよ。しかし、畠山さんは、これと全く違った考え方だったんですよ。

◆「陸の孤島」ではないということですか。

町長は「東由利町は臨空港の町だ」と胸を張って言うんですよ。

◆へえー。そういう見方に立てば、まさにその通りですね。「臨空港の町」ですか。

◇気持ちも明るくなるでしょう。ものは考えようです。私は、こういう考え方はとても大事だと思うんです。えてして秋田の人は物事を悲観的に考え、落ち込んだり、悲観したりしているケースが多いと思うんですよ。首長が落ち込んでいてはいけませんよ。

内憂外歓

◆山についてはどういう考え方をもっているんですか。東由利町は「山の町」でもあるわけ

◇「山は財産だ」と思っているね。

かけがえのない財産だと思ってる。いつか畠山町長がこんなことを言っていた。

「山のない平鹿町の人たちは、どこへ山菜を採りにゆくか。山のある東由利町へ来て、山菜を採って行く。あるいはキノコを採り、タケノコを採って帰って行く。山は人を呼んでいる。東由利町の山は「山菜銀座だ」と言っていました。

◆一種の自信ですね。

◇自信がなかったら、町の舵とりなど出来ませんよ。

◆「過疎の町」などという言葉は町長から出ないんですか。

◇出ませんね。空気はきれいだし、美しい自然が一杯だ。優秀な労働もある。なまじ都会ずれした若者など、企業にとっては迷惑千万なはずだ。素直で正直で、一生懸命働く若者こそ、「優秀な労働力」と言える。もう、何から何まで、東由利の自慢ばかり言うよ。あの町長は。私はそれでよいと思うんだ。「良さを認める」ということはねえー。

◆町に危機感もっていないんですか。

◇そりゃ、ありますよ。ですから「信英グループ」に命を賭けたんですよ。

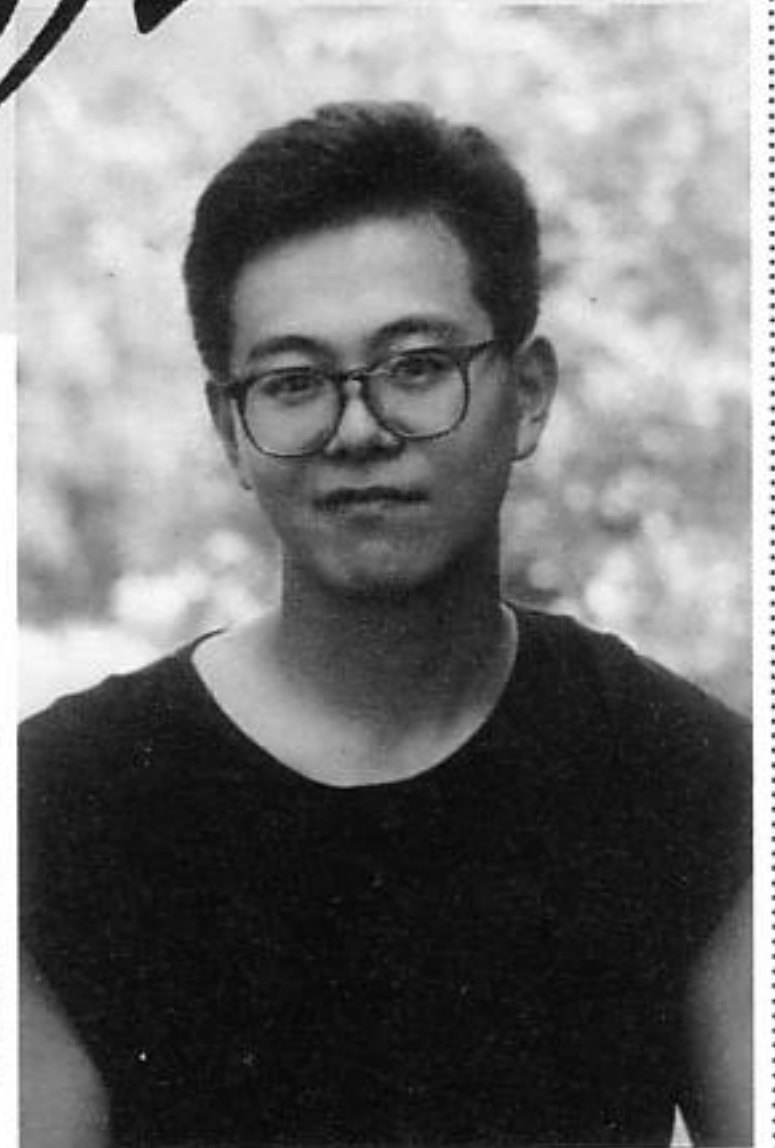
◆どういう危機感でしょう。

◇「所得」と「出稼ぎ」と見て

るんですがね。東由利町は純農村地帯なんです。人口六千人のうち、農業人口は四千八百人。実に七八割が、農家によって占められている町なんです。しかも今、大きなトレンド(流れ)の中で、揺れに揺れているでしょう。今の政府の「農業政策」では、農民は生きてゆけない。それが「出稼ぎ人口」を増やしている。そういう危機感だと思っんです。畠山さんが町長になったとき、「出稼ぎ」は七百二十人もいたんですからね。「このままでは町が崩壊する」と思っても不思議ではないと思うんですよ。(次号に続く)

ガール

小松 淳さん(22歳)
宇戸坂・(株)秋田新電元勤務



Uターンして一年目。現在本荘市の(株)秋田新電元に勤めています。趣味は「バイク」で、以前ミニバイクレースをやっていました。骨折の経験が二回、それにも懲りず、いつか「エンデューロ」にでてみたいと思っています。バイクの魅力は、やはりスリルと緊張感……ハンドルを握るとス

トレスもすっ飛びます。これまでに乗り換えたバイクは十一台、今も日曜日はほとんどバイクにまたがっている、自他ともに認知するオトキチです。鈴鹿サーキットでグランプリライダーをじかに見たときは感動しました。夢は、バイクで日本一周すること、「パリダカールラリー」に出ることです。バイク以外のことも少し……最近読書をするようになって、山川健一の本をよく読みます。好きなタレントは西田ひかるです。次は小松幸月さん(寺田・22歳)にバトンタッチします。

「おはよう。」

私が朝起きると、もう台所からいい匂いがしています。おばあちゃん、朝四時に起きて、ご飯やたくさんのおかずを作って待っています。時々、私は父や母とレストランや食堂に行きますが、やっぱりおばあちゃんのご飯がおいしいです。毎日食べているせいかもしれませんけれど、本当はおばあちゃんの手で作った料理だからです。おばあちゃんの手は、料理が上手なだけではありません。私に、クッションや手さげ袋を作ってくれる、裁縫の上手な手です。まるでミシンのようなおばあちゃんの手は、早く、細かく、ていねいに

おばあちゃんの手

伊東恵合子さん(高瀬小五年)



きちびつこギヤウラリ

作文編

縫い上げてしまいます。昔、左利きなのが恥ずかしくて、編み物はしなかったそうですが、それがとても信じられないくらい上手です。もう一つのおばあちゃんの手は、昔の戦争時代、食べるものがなく、家族みんなで畑を耕して、苦しい生活を送り抜いてきたたくましい手です。おばあちゃんの手は、ざらざらになっていて、今日も畑仕事から帰ってきた手は、しわの間に土が入って真っ黒です。でも、このおばあちゃんの手は、どんなことでも、一生懸命に汗を流してやった手です。たとえば、おばあちゃんの手が、ざらざらでもしわだらけでも、私は大好きです。

保健婦の

快適タイム

肩凝りは大病のサイン?

疲れや緊張が肩凝りになって表れる——よくあることです。

肩凝りは、血液の循環が悪くなり、肩の筋肉に疲労物質がたまるために起こるのですが、ときには、重大な病気のサインである場合があります。

例えば、狭心症などの心臓病は、左肩を中心に首すじから背中にかけて凝りや痛みを覚える場合があります。また、肝臓病や胆石では、右肩が凝ったり痛んだりするといわれます。

日ごろから血圧の高い人が、首すじの凝りや、肩から頭にかけての重苦しさを訴えるときは、動脈硬化や高血圧症が、ひどくなっていることが疑われます。逆に、血圧の低い人は、全身的な貧血が肩凝りを引き起こすことがあります。胃カイトウや十二指腸カイトウ、女性の場合は子宮筋腫、子宮ガンなどがないか検査してください。

一般的な肩凝りの治療にはマッサージや入浴などで血行を良くする方法をとりますが、それによっても一向に改善する兆しのない頑固な肩凝りは、一応診察を受けたほうが安心です。

(保健婦・小松友子)

9月8日に発表会

東由利町民謡同好会は、昭和四十七年に発足し、職業の違う仲間が同じ目的で郷土民謡を愛し楽しく唄い踊りながら、毎月五日、十五日、二十五日に、法内克雪センターで午後七時〜九時三十分頃まで研鑽しています。そして、毎年行われている県大会、郡大会に出場し、常に上位に入賞しています。郡大会では連続優勝三回の実績もあります。

随想スッポッド

私の出番



島千 葉 寛さん

交流ができ、たくさん仲間が出来ます。唄ではおなかの中からの大きな声、踊りでは全身を使うので、ストレスの解消など健康に大きく役立っています。どうぞ皆様もぜひ入会されてみてはいかがでしょうか。

今年は九月八日(土)、午後六時から健康増進センターで大発表会を開催します。当日はおはこの部、挑戦の部、賛助出演の部に分けて発表しますのでぜひおいで下さい。会員一同お待ちしております。

教師のつぶやき

せんせい登場



私の心に残っている言葉

高瀬小学校・佐藤健司先生

東由利にきて色々な先生と出会った。その先生方から学んだ言葉をエピソードを添え紹介したい。「何かやれるから高瀬に行くのだ。何もできませんが……」と言うな（笹本前東由利中学校長）——学生気分のまま寄宿舎に講師として赴任し、ドスのきいた声でいつも怒鳴られていたが、送別会とともにこの言葉を頂いた。よし、自分がやれるだけ頑張ろうと思った。「中日星野監督のように燃える男となれ」（畑山教育長）——中日優勝の年。星野監督の采配が話題になった年である。本採用が決

まった時に頂いた言葉だ。先生となれではなく、男となれといったところが深く心に残っている。「本荘由利の教育は高瀬から」（大平前高瀬小学校長）——教育の発信地は高瀬からだという大平校長。フアイトが湧いた。「何かいいことがあるもんだ」（三森前高瀬小教頭）——何とでもないような言葉だが、実は、新米の私が子供をうまく操れなく、一人悶々と悩んでいた時のこと。肩ひじ張らず、気楽にやれ、焦るなどという意味。気合いだけが空回りしていた私の潤滑油となった。

元・気印

私の場合

佐藤康一郎さん（田代・69歳）



十二月で満七十歳になる。酒は健康を気づかい二年前にキツパリ止めた。昔はよく食ったが今は甘

いものと間食は絶対採らない。ごはんは朝二杯、昼と夜は一杯、みそ汁は毎食一杯で、おかずは野菜が中心。睡眠は八時間。よくしゃべる……これが私の健康法。そしてここの数十年間、毎朝一回の快便が私の自慢。
この歳で六十アの水田と六十アの畑を耕し、五畝の山林の手入れをしている。畑にはサヤインゲンを栽培し、毎日農協に出荷している。農業には体力が必要で苦勞も多いが、まだまだ体が動く限り続けていきたい。それがもう一つの私の健康法。（談）

ふるさとを想う

小鳥沢のマオどりこ

語り・遠藤猪一郎さん（小倉）
文と絵・石渡力造



どきどき行ぐーと駆け走るマオを追いかけたが、ついに見失ってしまったけどよ。
子守りこは、めんこい仔馬のマオいとしさに、夢中になってさがし回ったでおの。野を越え山を越え、「マオー」「マオー」と涙も声もかれるほど呼び続けただけけども、見当たらなかったけど。

その晩、九之助主人は、帰らない子守りこを大変心配し、家中のみんなでたいまつをかざし、あつちの峰、こつちの沢とさがし回ったけど。
白々と夜が明けるころ、向かいの沢のやわらかな草むらに、がけから転げ落ちて息の絶えているマオの首すじにすがりつき、冷たくなって倒れている子守りこの亡きがらが見つかったけどお……。
嘆き悲しむ主人の九之助は、ふとそのとき、「マオー」「マオー」と悲しそうになく一羽の小鳥が飛んでいるのを見て、化身した子守りこの姿と思ったけど。
土地の人たちは、この沢を「小鳥沢」と呼んで、馬の草刈り場にしたけどお……。
とっぴんからりん山しよの実。



は初めて出席させていただきました、幼なじみの顔、顔……に昔の面影を追い、とても懐かしく楽しいひとときを満喫して帰宅しました。
「秋田県人会」には十年位前から出席していますが、やはり東由利会の方に親密さを感じます。
年を追うごとに故郷が恋しく、食べるものすべてが懐かしく感じられます。特に「さしぼっこ」は、年老いた両親が毎年宅配便で送ってくれるのを冷蔵庫に入れて置き、少しずつ食べては両親への感謝と、故郷のことを思い起こしながら、幸せを噛み締めています。
これから故郷の自然や味覚を心の寄りどころに、東京東由利会の行事にも欠かさず参加しながら、「ふるさと東由利」を大事にしていきたいと思っています。

エゾエンゴサク

(ケシ科)

文・写真 小松忠正

65



北海道から本州中部までの山地や湿り気のある山裾、畑等にも見られる多年草で、地下茎は一〜二つの球形で茎はこれから出ますが途中に長卵形の鱗片があります。高さは十五〜三十センチで、やや軟弱な感じがします。葉は一〜二回三

出複葉で小葉は楕円形です。花は写真のような青紫色の美花をつけます。(写真祝沢の金ヶ沢で)、和名は延胡索で球形の地下茎(塊茎)がコリダリスというアルカロイドを含むため薬用にするときの漢方名だといわれます。

8月 (6/1~6/30)

町の三二統計

- 人口 () は前月比
 - ・男 2,845人(△8)
 - ・女 2,996人(△2)
 - ・計 5,841人(△10)
- 世帯数 1,424戸(△1)

() は1月からの累計

- 出生0人(24) ●死亡4人(28)
- 転入4人(36) ●転出10人(79)

- 火災出動……0件 (2)
- 救急出動……12件 (53)
- 交通事故……4件 (7)
 - ・死者……0人 (0)
 - ・傷者……6人 (13)
- 飲酒運転……1人 (2)
- 酒気帯び……1人 (2)

戸籍だより

(6/21~7/20届出・敬称略)

●ご結婚おめでとう

長谷山徳保 八日町
大日向広美 宮ノ前

●ごめい福をお祈りいたします

小松興四吉(93・三喜雄・父)新町
小松鉄太郎(88・クメヨ・夫)下通
加藤 誠(53・誠子・夫)湯出野
高橋 刃造(65・サキ・夫)智者鶴
太田 勇一(82・ヲヨシ・夫)蔵新田
小野末太郎(78・ミヨ・夫)上里
工藤 タツ(61・榮治郎・妻)八日町

8町民カレンダー

夏の青少年健全育成運動実施中

- 1~10・夏の交通安全運動
- 2・東光苑夏祭り(18時~東光苑)
- 4・15・航空防除
- 7・郡支部消防訓練大会(本荘市)
- 7~10・出稼ぎ検診(有隣館)

農近ゼミの「青空市場」

11日10時矢島信用金庫前に開設

- 15・第6回ふるさと交流(朋楽荘ほか)
- 15・町成人式(有隣館)
- 15~17・夏の社会人野球大会
- 21・町戦没者追悼式(有隣館)
- 26・第21回町民運動会

第2、第4土曜日は役場が休みです

マイスケッチ

朝もやと鳥海

小松 久隆さん(下小路)



朝日を受けて照り映える鳥海山。眼下の大琴集落が「もや」に包まれていました。左手前の松が現れたところでパチリ。「高館」跡付近より昨年11月下旬に撮影。

▼六月に野球場、七月には斎場「やすらぎ苑」がオープン、引き続き八月末に館合地区多目的共同利用施設「玉米会館」がオープンします。事業費はざっと四億円。でも、いずれも国の助成などで建設しています▼「やすらぎ苑」の竣工式に出席した前川盛太郎県町村会長(岩城町長)は、「続けざまに毎月竣工式をやる町などザラにはない。

編集室から

東由利町にそれだけ金流れ込んでいることを意味している。うらやましい限り……とあいさつを述べていました▼通常であれば年に一度あるかなしかの竣工行事。八月八日には大琴バイパスの開通式、八月末には「玉米会館」の竣工式が行われ、パンフレットづくりなどの仕事を引き続き増やさせていただいている当広報担当であります。



町社会福祉協議会に太田行雄さん(蔵新田)から金一封が届けられました。
ありがとうございました。

町民の声を町政に！
町長の面会日・今月は20日